

第1学年8組 国語科学習指導案

1年8組教室 指導者

1 単元名

筆者はどうしてこう書いた？（5時間完了）

教材文：ちょっと立ち止まって（桑原茂夫／光村1年）

2 単元の目標

- ・主体的に説明文を読み、学び合いの中から自分の思考を再構築したり、よりよい意見をもったりすることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・筆者の思いや主張をとらえた上で内容を正しく読み取り、筆者の文章の構成や展開、表現の工夫について、自分の考えをもつことができる。 (読むこと)
- ・学習した内容や本文の形式を参考にしながら、自分の思いや考えを文章で表現することができる。 (書くこと)
- ・学習内容を踏まえた説明文を書く際に、より適切な語句を選んで書いている。 (言語事項)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、主として中学校学習指導要領国語科第1学年の指導事項「C 読むこと」の次の内容を受けて設定されている。

C 読むこと

(1) エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

教材文「ちょっと立ち止まって」では、「物を見るときには中心に見るものを変えたり、見るときの距離を変えたりすることで、その物の他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができる」という主張がされた文章である。「教科担任がどのような人間か」という問いについて自分の考えをもった上で教材文と出会わせることで、生徒は自分の考えを見直すきっかけをつかめるだろう。また、筆者がなぜそのような思い（問題意識）をもっているのかを知りたくなり、その内容や形式の工夫について主体的に学ぼうとする姿が期待できる。

教材文の内容では、筆者が「ルビンのつぼ」をはじめとする3種類のだまし絵を具体例として挙げていることで、生徒はその内容に関心をもちやすだろう。また、詩人、評論家である筆者の立場に立つことで、生徒は筆者の主張を受け入れやすくなるだろう。さらに、形式の工夫として、筆者が述べた主張につながる手だてが2つであるのに対し、具体例として挙げただまし絵が3枚であることも興味深い。構成の面で考えると、具体例（だまし絵）から日常生活の例を挙げて読者の理解を促そうとしている。そのように見ていくと、第5段落の存在に問題意識をもつ生徒も多いことだろう。

教材文との出会わせ方や教材文の特徴を生かした授業を展開することで、内容の理解や形式の工夫を生徒が主体的に考えることができるだろう。また、生徒の実生活に関わる学習課題を設定し、教材文と関連づけながら解決することで、説明文を読む目的（価値）についても理解することができるだろう。

本単元の学習を通して、生徒は説明文を読む目的（価値）をとらえたり、筆者の思いをとらえて主体

的に説明文の内容や形式の工夫を理解したりする力を育てることができるだろう。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒（男子19名、女子16名）は、非常に前向きな気持ちをもって中学校に入学し、意欲的に日々の学校生活や授業に取り組んでいる。学級のこだわりである「一人も見捨てない学級」づくりを意識し、出身小学校にかかわらず積極的にコミュニケーションをとり、学級集団をよりよくしていこうと、アイデアを出し合ったり、声をかけあったりすることができる。

このような生徒のよさを生かし、学習課題の設定を工夫し、学び合いの授業を展開していくことによって自分の考えをもち、仲間と交流する中で、思考の再構築をしたり、よりよい意見をもてるようになっていたりするだろう。また、学び合うことの価値やよさを実感させることによって、これからの国語の授業に対しても主体的に取り組んでいこうとする意欲を高めていきたい。

(3) 単元構想

	時	学習活動	指導上の留意点 (○獲得/◎操作)
言語獲得	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例とそのまとめの関係をつかむために、単語や文で具体・抽象（上位概念・下位概念）の関係を学習する。 ・教師の判読を聞きながら文章を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹形図を用いることで、具体と抽象の関係を視覚的にとらえられるようにする。 <p>○具体と抽象</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を3つの大きなまとまりに分ける。 ・結論の内容から、「筆者の思い」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとめ」の文を確認し、本論の例が一般化されていることをおさえる。 <p>○結論、まとめ</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめとだまし絵の関係を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3枚の図や、段落の初めの言葉に着目させ、本論が3つのまとまりで構成されていることをおさえる。 ・本論を表に整理し、筆者の説明の仕方に気づかせる。 <p>○序論・本論・結論、具体例、対比</p>
言語操作	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・「2枚目のだまし絵は必要か、必要でないか」について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の考えの対立から、「筆者の思い」に迫れるようにする。 <p>◎具体例の順序、段落の役割、段落相互の関係</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・400字の読書レポートを書き、学習内容を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文章の特徴」というテーマで書かせる。 <p>◎「筆者の思い」を「自分の思い」に重ねる言語活動</p>

(4) 本単元の核となる用語

・構成（序論－本論－結論） ・具体と抽象 ・対比 ・具体例 ・筆者の思い ・段落

4 本時の構想



(1) 本時の目標

- ・ 学び合いの中で積極的に思考の再構築をしたり、よりよい意見をもったりする。(関心・意欲・態度)
- ・ 筆者の思い(問題意識)から内容や形式が工夫されることを理解する。(読むこと)
- ・ 自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。(言語事項)

(2) 本時における「言語活動の充実」

前時までに獲得した知識を関連付け、課題解決のために自問自答したり、仲間と議論したりする場を設けることで、説明文はその内容と形式が密接にかかわり合うことに気づかせたい。

(3) 指導過程

学習活動	教師の働きかけ 思考・判断・表現
<p>1 前時までの学習内容を振り返る。</p> <p>2 学習課題を提示し、内容と形式の関係に迫る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2枚目のだまし絵は筆者の主張を伝えるために必要か、必要でないか。</div> <p>(1) 筆者の思いに注意しながら自分の意見をもつ。</p> <p>(2) 5人編成のグループをつくり、意見交流をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>ルビンのつぼの絵だけで、意味がわかるのだから、2枚目の絵は必要でないと思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>ルビンのつぼに比べて、女性の絵はわかりにくいね。「中心に見るものを変える」というのは、「見る距離を変えるよりも難しいことを伝えたいんじゃないかな。だから必要だよ。</p> </div> <p>(3) ノートに自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主張の具体例に対するだまし絵の数に違いがあることを確認する。 <p>関連づける 説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの意見交流の場を2回設定し、多くの意見にふれられるようにする。 ・ 学習活動2(1)で考えがもてなかった生徒は1回目の意見交流で聞いた意見を参考にして2回目の意見交流に臨めるようにする。 <p>☆思考が進まない生徒には2枚目の絵についての説明を書くことで</p> <p>(必要) どのような効果があるのだろうか</p> <p>(不必要) なぜ分かりにくくなるのだろうか</p> <p>という補助発問をし、そのよさを考えさせる。</p>
<p>3 討論する</p> <p><必要></p> <p>①絵が2枚あった方がわかりやすいから。</p> <p>②「見る距離を変える」ことよりも「中心に見るものを変える」ことを重点的に伝えたかったから。</p> <p>③「中心に見るものを変える」というのは1つだけの具体例ではイメージがしづらく、主張を正しく理解してもらえないから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要派の意見と不必要派の意見を分けて板書し、思考を整理しやすくする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>取り上げる発言のポイント</p> <p>① なぜ「見る距離…」も2枚にしないのか。</p> <p>② なぜ筆者はこちらを重点的に伝えたいと考えたのか。</p> <p>③ 「中心に…」と「見る距離…」の論理展開が変わってしまうのはどうか。</p> </div>

<p><不必要></p> <p>④この絵はわかりにくく、かえって読者を混乱させるから。</p> <p>⑤もし「中心に…」の絵を2枚にするのなら、「見る距離を…」の絵も2枚にすべきだから。</p> <p>⑥これがあるせいで、筆者の論理展開が崩れてしまっているから。</p> <p><まとめ></p> <p>①筆者の主張をわかりやすくするためと考えるなら必要。</p> <p>②論理展開（構成）をわかりやすくするためと考えるなら、不必要。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>取り上げる発言のポイント</p> <p>④ なぜ筆者はわかりにくい絵をあえて入れたのか。</p> <p>⑤ 「中心に…」だけを2枚にした筆者の意図は何か。</p> <p>⑥ 主張よりも論理展開が大切なのか。</p> <p>・必要派の理由が筆者の主張につながることに、不必要派の理由が論理展開につながることになっていることをまとめる。</p> <p>・まとめた上で、その上で、筆者はなぜ2枚目の絵を入れたのかを問いかけ、筆者の意図に迫れるようにする。</p>
<p>何を中心に見るか（筆者の主張 or 論理展開など）によって、書かれている内容の必要性は変化するが、筆者が文章に書いた（あるいは書かなかった）のには筆者の意図が存在する。</p>	
<p>・授業を通して学んだこと・気付いたことを書くように促す。</p>	
<p>期待する生徒の表現</p> <p>・説明文は「型」どおりに書くものだと思っていたけれど、筆者は思いや主張に合わせて、内容や形式を工夫して書くことがわかった。</p>	